

高校生の音楽 1

27 教芸

音I 702

令和6年度
高等学校用教科書 音楽I
(令和6教 内容解説資料)



改訂のコンセプト

自分の感性を 軸にして学びます。

これまでの経験や学習で培われた自分自身の感性を学びの軸とします。

知識・教養をもとに 音楽を捉え直します。

幅広い知識と教養に触れ、自分なりの考えをもつことを目指します。

体験活動を通して実感を 伴った学びを促します。

自分の体を実際に使って、感じ取ったことを学びにつなげます。

他者との対話を通して 学びを深めます。

考えたことや感じたことを他者と共有し、さらに学びを深めます。

4
5

表現とは、 頭と体を使った他者との対話



人間は、どうしたって他者と生きていかなければならない。一人一人が、それぞれの環境のなかで色々なものを抱え、時には折り合いがつかず苦しむこともあるかもしれない。

僕が表現活動をするうえで一番重要だと思っているのは、そのような社会のなかで、自分自身が何に興味をもっているのか、何を美しいと思っているのか、という個人的な感性を大事にすること。

自分の感性を軸に、自分の頭で物事を捉え直し、自分の体を動かし、他者と対話しながら、作品をつくりあげていく。

万人受けだけを求めるのではなく、今誰かが抱えている個人的な問題意識に大きく響くような、そんな表現活動をしていきたい。

森山未来

もりやま・みらい

1984年、兵庫県生まれ。5歳から様々なジャンルのダンスを学び、15歳で本格的に舞台デビュー。2013年には文化庁文化交流使として、イスラエルのテルアビブに1年間滞在、インバル・ピント&アヴシャロム・ポラックダンスカンパニーを拠点にヨーロッパ諸国にて活動。舞台、映像、パフォーマンスなどのカテゴリーに縛られない表現者として活躍。



"Wallflower" by Inbal Pinto and Avshalom Pollak
Photographer: Rotem Mizrahi

(教科書p.4-5)

また、学習指導要領の改訂に伴い、以下の5つのポイントに考慮して編集しました。

- ①主体的・対話的で深い学びの実現を目指しました。
- ②生活や社会の中の音や音楽の動き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を目指しました。
- ③生きて働く「知識・技能」の習得を目指しました。
- ④未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指しました。
- ⑤学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指しました。

①主体的・対話的で深い学びの実現を目指しました。

(教科書 p.50-51)

●「音楽って何だろう？」という問いかけを出発点として、主体的な学び、対話的な学び、深い学びの実現を目指します。

音楽 What is music? 音楽って何だろう?

音楽って何だろう?——これは他の人に対する問いかけではなく、自分自身への問いかけである。今はこう思っているが、これからも同じように考えるのだろうか。自分は今こう思っているが、他の人と同じだろうか、それとも異なっているのだろうか。自分自身と他の人との対話を通して、音楽について考え、そして考える前に共に表現して体験して、あなた自身の答えを探してほしい。

久保田慶一(音楽学者)

○p.32 音楽って何だろう? ① 頭の準備体操
○p.54 音楽って何だろう? ② さまざまな音楽のあり方
○p.68 音楽って何だろう? ③ 音楽の向こう側にあるもの
○p.124 音楽って何だろう? ④ リズムについて

孔子 思想家
Confucius
音楽は、人間を完成させるもの。

アウグスティヌス 哲学者
Augustinus
Musica est scientia bene modulandi.
音楽とは、音を良く動かす知識である。

ジョン・ブラッキング 音楽学者、社会人類学者
John Blacking
Music is humanity organized sound.
音楽は、人間が組織つけた音である。

坂本龍一 音楽家
Ryuichi Sakamoto
耳を傾ける行為が、音楽なのです。

一噌幸弘 音楽家
Yukihiro Isso
音楽とは、至高の言葉。

椎名林檎 音楽家
Sheena Ringo
音楽とは、耳から振る栄養です。

50 混声合唱とオーケストラのためのカンタータ 土の歌 大木淳夫作詞 佐藤 眞作曲

カンタータ《土の歌》は、(大地讃頌)を含む全7楽章からなる混声合唱とオーケストラの楽曲である。ここでは、混声合唱とオーケストラの表現に注目する。

52 第五楽章 (天地の怒り)

雷だ いなづまだ 嵐だ 雨だ 洪水だ

上手が崩れる 崖が砕ける 橋が流れる 樹も根も 根こそぎにされる 濁流が 家を呑む 人をさらう

地上に山脈があり 地の下に燃える火があり 地上に絶えずかぶさる大地の上のなげきは深い

51 第二章 (祖)

あゝ 踏んでみろん 寝ころん たしかに 土の尊さ

大空の 高き仰 しかし 山河よ さくらの 花さく丘 顔上げて 堂々と 此の上を 祖國の土

(教科書 p.52-53)

Step 3 全楽章を通して聴き、カンタータ《土の歌》にどのような思いが込められているのかを話し合おう。

Step 4 Step①～③を踏まえながら、(大地讃頌)の全体における意味や役割を考え、どのように合唱表現に生かしたらよいかを話し合おう。

3

レニス シンガーソングライター
Reniss
Music is life.
音楽は、心と感情から生まれ、同じ心と感情のために捧げられる、音の芸術です。

サブトノ シワカラシ音楽家
Saptono
Musik adalah seni suara yang dilahirkan dari hati dan perasaan, disajikan juga untuk hati dan perasaan.
音楽は、心と感情から生まれ、同じ心と感情のために捧げられる、音の芸術です。

ボリス・ベルナル イタラケ音楽士
Boris Bernal Mansilla
La música es dejar huella de su paso interiormente a través de los sonidos de síkus.
音楽とは、人の心に人生の足跡を刻むこと。

山田らん 振付家、ダンサー
Un Yamada
音楽とは、風の形をした、もう一つの人間の姿である。

古川日出男 作家
Hideo Furukawa
音楽とは、目を閉じても見える色彩を持った、人間の友だちです。

ヤマザキマリ 漫画家
Mari Yamazaki
音楽とは、言葉には置き換えられない感情の辞書である。

小堀美由子 茶道家
Fuyuko Kobori
音楽とは、自分を形づくるもの。

石川佳純 卓球選手
Kasumi Ishikawa
音楽は、背中を押してくれるもの。

隈研吾 建築家
Kengo Kuma
音楽とは、物質と身体との会話である。

作曲家 大木淳夫について

大木淳夫(1895～1977)は、広島県生まれの詩人、翻訳家、作曲家。幼少期からすでにロシア文学などに親しみ、高校時代には三木露風の詩を受け、若山牧水、三木露風の詩に影響を受けて短歌の創作を始めている。北原白秋に認められた処女詩集『風・光・木の葉』でデビューした大木は、昭和初期には日本を代表する詩人と見なされていた。山田耕筰は、大木の詩に基づく歌曲を多数書いている。太平洋戦争中、大木は陸軍の宣伝班員として徴用され、ジャフ戦線に送られた。死と直面する戦地で書かれた詩集『海原にありて歌へる』は熱狂的に支持され、その中の『戦友別荘の歌』は特に多くの人々の感動を呼んだ。戦時中、求められるままに戦意高揚の詩を発表し続けたこととなる。戦後、大木はジャーナリズムから避けられることとなる。そうした日々の中、大木は子ども向けのラジオドラマ番組の制作に関わったり、自ら雑誌『詩の座』を刊行したりした。また、浄土宗増上寺より、経典『六時礼讃』の和訳の依頼を受ける。1962年からは、2年の歳月をかけて『キリスト詩伝』の執筆に没頭した。『土の歌』を作詩したのもこの頃である。1965年には15冊目の詩集となる『失意の虹』を刊行し、1967年には、紫綬褒章を受章する。その後は『歌集詩伝』の執筆に晩年のほとんどを費やした。

作曲家 佐藤 眞のことば

——大木先生はたいへん朗読が上手でした。詩が出来上がってくださるとご自身で読んでくださるのですが、これは見事なものでした。「恩恵」とか「時計台が崩れる」という言葉を大木先生が読むと、実に重厚で独特な雰囲気と迫力がありました。我が舌が読むと平凡な感じになってしまうのですが、あの朗読の重みは印象に残っています。(大地讃頌)は独立した曲として演奏できるようになっているので、そういう取り上げ方をされてももちろんかまわないのですが、これは、7曲から構成されているカンタータ《土の歌》の最終楽章でもあります。(地上の折り)が「ジャーゴン」と終わって、この曲の前奏が「サワサワ」と鳴り出すわけです。あの「サワサワ」といった感じは、ピアノでは出せないで、ピアノ版では全然違う形にしたのです。できればオーケストラ版も聴いていただいて、そういうところに位置するんだなあ、7曲全体の中の意味や役割を少しも知っていたいただければ幸いです。

●佐藤 眞(1938～)は、茨城県生まれの作曲家。東京芸術大学音楽学部専攻科修了。日本音楽コンクール作曲部門第1位及び特別作曲賞(1961)、芸術祭賞、トリノ市賞、イタリア賞グランプリ、芸術祭大賞(1983年、文化庁主催)、下総統一音楽賞(1990)など多数受賞。主な作品に、混声合唱のための組曲《魔王》、混声合唱のための組曲《歌》、オペラ《暁》などがある。

●どの部分に注目して学習を進めたらよいか、話し合ったらよいかを具体的に示し、主体的・対話的な学びを促します。

他にも……
●教材を深く理解するための資料を適切に配置し、音楽的な深い学びを促します。
例：教科書 p.40-41 《菩提樹》

●ある音楽についての理解を深めるとともに、その音楽が生まれた社会のあり方についても学び、深い学びを促します。
例：教科書 p.56-57 ガムラン 《ランチャラン マニャルセウ》

(教科書 p.2-3)

②生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を目指しました。

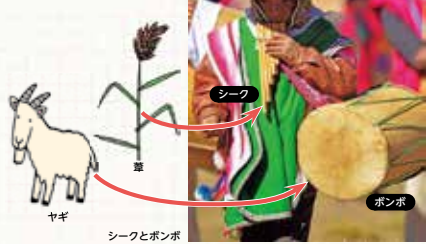
●それぞれの音楽が、生活や社会の中でどのような意義や役割をもっているかを学び、音楽的視野を広げます。

音楽旅行記 ※これは体験に基づいて書かれた旅行記です。

地球の裏側の音楽を求めて～ボリビア～

大学1年生の夏、世界の音楽について調べていたとき、地球の裏側の南米ボリビアにイタラケという音楽があるのを知った。長さの違う棒を束ねた管楽器のシークと、丸太をくりぬきヤギの革を張った打楽器のボンボで演奏されるらしい。楽士たちはボンボを肩から掛け、シークを手に持って同時に演奏し、人々はそれに合わせて踊るといふ。インターネットで動画を見て、どうしても生のイタラケに触れたいとなり、実際に行ってみることにした。

相田 雪 大学生(当時)



シークとボンボ



ボリビアまでの道のり

1日目 ● 日本から飛行機を2回乗り継ぎ、40時間かけて到着したのは、ボリビアの中心都市ラパス。標高が3700mで空気が薄く息が苦しい。こんなところで笛を吹いたらすぐに息が切れてしまう気がする…。街で見つけた楽器屋さんで、「イタラケを見に行きたい」と、何度も練習して覚えたスペイン語で伝えると、「チチカカ湖方面のバスへ乗れ」と言われた。



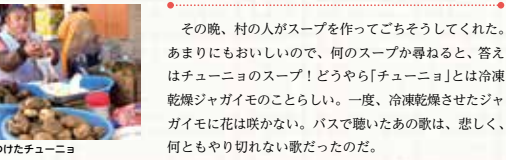
中心都市ラパスの風景

飛び乗ったバスは何と日本製の中古車で、チチカカ湖沿岸を進んでいく。途中からデコボコの砂利道になり、とても揺れた。車内では音楽が流れていて、運転手にタイトルを尋ねると、恋人が戻ってこない悲しみを歌った《チューニョの花が咲く頃に》という歌のこと。「チューニョの花」ってどんな花だろう？



《チューニョの花が咲く頃に》

出発から5時間半後、村に到着。出会った村の人に今回の旅の目的を話すと、最初はびっくりしていたけれど、温かく迎えてくれた。すぐにも音楽が聴きたかったが、イタラケは年に数回のお祭りの日にしか演奏しないとのこと。残念に思ったのもつかの間、何とちょうど2日後が、そのお祭りの日だった！お祭りの日まで、村に1つしかない学校の教室に泊めてもらえることになった。



市場で見つけたチューニョ

その晩、村の人がスープを作ってごちそうしてくれた。あまりにもおいしいので、何のスープか尋ねると、答えはチューニョのスープ！どうやら「チューニョ」とは冷凍乾燥ジャガイモのことらしい。一度、冷凍乾燥させたジャガイモに花は咲かない。バスで聴いたあの歌は、悲しく、何ともやり切れない歌だったのだ。

2日目 ●

村をぶらぶらしていると、シークを作っている人が！演奏をする人は、みんな自分でシークを作るそうだ。シークは、楽隊の一番偉い人が持っているシーク用のものさしを基準にして長さを決める。「この長さがびつたり合わない」と、音程がずれて、音楽がきれいに響かなくなる」と教えてくれた。そして、完成した楽器は、音楽の精霊が住むという洞窟のそばで、夜通し演奏することで命を吹き込む必要があるのだそうだ。



お祭りに向けてシークを作る村人

3日目 ●

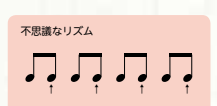
ついに祭当日！まずは近くの山に、重いボンボをかついで登り、頂上でかがり火を焚いて儀式を行う。このときに演奏される音楽は、どこか荘厳な感じがした。村の人の言葉が全部分かったわけではないが、その年のジャガイモの豊作を祈っていたようだ。頂上から眺めるアンデス高原はとても広大で、遠いところまで来たなあ、という感慨があった。しかし一方で、火を見てみると、何となく日本のお盆を思い出したりして…



踊りながら楽しむ人々

山を下りて会場を村の広場に移すと、人の多さにびっくり！周りの村々からもたくさん来ていたらしい。ここで音楽は、儀式のときよりもずっとおもしろい。不思議に思いつつも、誘われるがまま一緒に踊ってみると、音楽がステップによく合っており、とても心地よく感じられる。言葉ではうまく言えないけれど、「なるほど、そういうことか」と体で理解することができた。ここでは、老若男女、みんなとても楽しんでいた。

4日目 ● お祭りの翌日、村の人たちにお別れを言いに行くと、村の人たちは口々に「また来年もお祭りのときにぜひ来てくれ」と言ってくれた。村長は、古い写真を取り出して、「これは私の父が若かったときの写真だよ。この時代から、本当にごく最近まで、イタラケの音楽は下等文化と言われて差別され、私たち自身も自分たちの音楽に誇りをもてなかったんだ。だから、遠いアジアから君のような人が来てくれてとても嬉しかったよ、ありがとう」と言った。そして「プレゼントだよ」と言って、1枚のDVDをくれた。「最近みんなで撮影したんだ。インターネットでも見られるけどね。時代も変わったよ」と笑った。ラパスに戻ってからそのDVDを見てみると、それはまさにこの旅のきっかけになった映像だった！



不思議なリズム



1970年代の写真



最後に村のみんなと…(筆者は後列左から4人目)

(教科書 p.58-59)

44

オペラ **椿姫** La traviata ヴェルディ

オペラ《椿姫》は、19世紀に活躍したイタリアの作曲家ジュゼッペ・ヴェルディの代表作です。19世紀半ばのパリを舞台にした、社交界で人気のあった娼婦と青年の恋の悲劇です。ヴェルディが描こうとした登場人物の心情や、当時の社会背景を理解して、オペラならではの表現を感じ取りましょう。

●主な登場人物

ヴィオレッタ (娼婦) ← 愛し合う → アルフレード (青年)
 ドッフォール男爵 (貴族) ← 恋し別れ → アルフレード
 ジェルモン (貴族) ← 父 → アルフレード

あらすじ

19世紀半ばのパリ。ヴィオレッタは人気的高级娼婦だが、日々遊び暮らす生活で不治の病にかかっていた。そんな彼女に、青年アルフレードは真心のこもった愛を打ち明ける。ヴィオレッタは夜の世界から身を引く、パリの郊外で彼と同棲を始める。そこへアルフレードの父ジェルモンが現れ、世間体から嫌われるから別れてくれと迫る。ヴィオレッタは泣く泣くジェルモンの説得を受け入れ、理由を告げずにアルフレードのもとを去った。突然の絶縁状に怒り驚くアルフレードは、夜会の場で彼女を侮辱する。やがて、父から真実を知らされたアルフレードは、ヴィオレッタのもとへ駆けつけるが、彼女の病は進み、やがて息を引き取る。

●第2幕フィナーレ～それぞれの思い～

アルフレードのもとを去り、以前のバトロン、ドッフォール男爵と一緒にヴィオレッタ。アルフレードは2人が夜会に行くことを知り、その場に駆けつけます。彼女の態度を誤解したアルフレードは、皆の前で金を投げつけ、彼女を侮辱します。ヴィオレッタは絶望しますが、ジェルモンとの約束で真実を打ち明けることができません。悲しみに暮れるヴィオレッタは、アルフレードへの愛を歌い始めます。彼女に同情する一同、軽率なふるまいを後悔するアルフレード、ヴィオレッタの心の中を思いやるジェルモン、皆がそれぞれの思いを同時に歌います。大勢が一度に自分の気持ちを表現するというオペラならではの表現を、じっくり味わいましょう。



東京二期会オペラ劇場 (椿姫)から

Largo

ヴィオレッタ

アルフレード

ジェルモン

ドッフォール男爵

合唱

【日本語訳】加藤浩子

《ラトラヴィアータ》=道を誤った女

《椿姫》の原題(La traviata)は、「道を誤った女」という意味である。女としての道を外れた女、つまり娼婦が主人公であることを暗示している。当時の結婚は、親が決めて家同士とするもので、身分違いの結婚は許されなかった。娼婦はほぼ全員が身分の低い階級の出身だったので、親としては許すわけにはいかない。《椿姫》のテーマは、原作者のデューマ・フィスにとっても作曲したヴェルディにとっても、身近であった。デューマ・フィスは実際にパリの有名娼婦と恋愛し、彼女が結核で亡くなった後に、自分の体験を美化して小説にしておき、ヴェルディも作曲当時、かつて複数の男性との間に何人もの私生児をもうけた元ソプラノ歌手と恋愛し、そのことで生まれ故郷のイタリアの田舎町では白い目で見られていたからである。



《椿姫》のモデルとなったマリー・デュプレシ(1824-1847)

●作品が生まれた当時の社会の価値観に触れ、音楽の文化的・歴史的背景について深く理解し、充実した鑑賞活動につなげます。

他にも……

●社会にメッセージを投げかける楽曲の学習を通して、音楽のもつ働きについての理解を深めます。

例：教科書 p.10-11 《魔法みたいに》

●世界各地のさまざまな音楽のあり方に触れ、「音楽とは何か」について考えを深めます。

例：教科書 p.54-55 「音楽って何だろう？②さまざまな音楽のあり方」

(教科書 p.44-45)

地球の裏側の音楽文化を体験しよう！

インターネットの活用



③生きて働く「知識・技能」の習得を目指しました。

●楽器の基本的な奏法を身に付けるために、無理なく楽しみながら取り組める楽曲を厳選しました。

Happy Birthday To You

P.S.ヒル, M.J.ヒル作詞・作曲
菅木宏幸編曲

メロディー、和音、ベースライン、それぞれのパートを練習しながら、ギターの基本的な奏法を学びましょう。また、コードの弾き方を身に付け、弾き語りにも挑戦しましょう。

演奏のポイント② 演奏の準備

- ギターを弾くためには、正確なチューニングが欠かせません。右の図を参考に、チューナーなどを使って正確にチューニングしましょう。よい姿勢で演奏することも重要です。左ページの構え方を参考に、リラックスできる姿勢で演奏しましょう。

●メロディーを弾こう

- メロディーに使われている音と左手のポジションを右に示しています。
- 低い音から順番に弾き、左手のポジションをしっかりと覚えましょう。
- ポジションを覚えたら、メロディーの練習をしましょう。
- 右手は、*i* と *m* の指を交互に使います。

●ベースラインを弾こう

- ベースラインに使われている音と左手のポジションを右に示しています。
- 低い音から順番に弾き、左手のポジションをしっかりと覚えましょう。
- 第6弦から第4弦を、右手の *p* の指で弾きましょう。

●和音を弾こう

- 下の楽譜で左手のポジションを確認しながら、和音を練習しましょう。
- 第3弦から第1弦を、右手の *i*、*m*、*a* の指で弾きましょう。

Challenge

メロディー、ベースライン、和音の各パートに分かれて合奏しよう。

●コードで弾こう

- 下のダイアグラムを見て、G、D7、Cのコードのポジションを覚えましょう。
- 下のパターンを繰り返して、左手のポジション移動を練習しましょう。
- 右手の *p* の指で弾きましょう。

●TAB譜の読み方

ギターの演奏には、TAB譜と呼ばれる記譜法がよく使われる。横の線は楽器の各弦を表し、数字は押さえるフレット番号を示している。音の長さなどは五線譜と同じように表される。

●D.118(いつでも何度でも)

(教科書 p.22-23)

●日本の伝統音楽の鑑賞教材では、鑑賞にも役立つ体験活動を取り入れ、実感を伴う学びを促します。

能高砂

世阿弥

能は、音楽、舞踊、演劇などの要素をもった日本の伝統的な歌舞劇です。室町時代の初め頃、足利義満の保護のもと、観阿弥(1333-1384)、世阿弥(1363?-1443?)親子によって基本的な形が整えられ、室町時代の末頃には現在の様子が完成しました。江戸時代には幕府の式楽(儀式で用いる音楽)に定められましたが、江戸時代に生まれた歌舞伎や三味線音楽にも多大な影響を与えました。

ここでは世阿弥が「古今和歌集」の文句を模範のよどこととして作られた「高砂」を聞き、声や楽器の特徴などに気をつけながら、能の音楽のよさや美しさを味わいましょう。

あらすじ
【前場】阿蘇神社(九州)の神主、友成が福徳(兵庫)の名所高砂を訪れたとき老夫婦に出会う。松の木を積み重ねる老夫婦は、この松が、遠い住吉の地に在る「住吉の松」と合わせて「相生の松」と呼ばれていることを友成に教える。そして「万葉集」の時代のように今も和歌の道が栄えていることを、樹齢千年を保つ常緑の松にたとえ、めでたいものと語る。また、自分たちは高砂と住吉の「相生の松」の化身であると友成に告げ、舟に乗って姿を消した。

【後場】友成は、土地の者に「相生の松」のことを尋ね、老夫婦の話をすると、住吉に行くことを勧められる。友成の一行は老夫婦の後を追って高砂の道から住吉へと向かう。住吉に着くと住吉明神が姿を現し、平和な世を祝福して風舞と舞う。

能の音楽

能の音楽は、謡と囃子で演奏されます。謡はシテ(主役)やワキ(シテの相手役)も謡いますが、シテの心情や情景などを描写する謡を地謡(通常8人)が担当します。囃子は、笛(能笛)、小鼓、大鼓、太鼓の4種類の楽器で構成され、これを「四拍子」ともいいます。謡とともに演奏するだけでなく、囃子のみで舞や役者が登場するときの音楽も演奏します。打楽器奏者が掛ける「掛け声」にも特徴があります(右ページの楽譜参照)。

能の大成者、世阿弥
世阿弥の父、観阿弥は絶大な人気を誇る天才的な役者であった。父の方針で英才教育を受けた世阿弥は、12歳で謡歌を詠み、謡曲が得意な美少年に育つ。そして、將軍足利義満のお気に入りとなり、將軍家や貴族向けに『源氏物語』『伊勢物語』『古今和歌集』など、古典に基づいた優美な作品を書き、当時流行していた平家『平家物語』を琵琶法師が語る音楽)からも題材をとって、義経を主人公とした(八島) (夜説)など、勇壮な作品をつかった。●p.142 夜説

世阿弥は、せりふではなく歌でストーリーをつくり、クライマックスで舞を舞う歌舞劇をつくり上げた。世阿弥の自筆楽を見ても、旋律やリズムの指示も書き込まれていて、驚くべきことに音楽の骨格が現在もほぼ変わっていないことが分かる。「能の本(脚本)を書くこと、この道の命なり」と記した自筆の伝言も残されているが、晩年は將軍家の愛顧から外れ、在渡に流れてこの世を去った。人生の機微を細やかに描いた世阿弥の作品は、600年たった現在でも上演され続けている。

世阿弥の自筆楽(江口)1424年

(教科書 p.62-63)

●古代ギリシャから現代まで、西洋音楽がどのような変遷を遂げてきたかを学習し、実際の鑑賞に生きる知識を身に付けます。

●創作教材では、自分の思いや意図を出発点として、他者と意見交換をしながら作品をつくり、音楽的感性を育みます。

例：教科書 p.28-31 「詩、短歌、俳句をもとにして音楽をつくろう」

(教科書 p.128-129) (教科書 p.130-131) (教科書 p.132-133) (教科書 p.134-135) (教科書 p.136-137)

●古代ギリシャから現代まで、西洋音楽がどのような変遷を遂げてきたかを学習し、実際の鑑賞に生きる知識を身に付けます。

他にも……

●創作教材では、自分の思いや意図を出発点として、他者と意見交換をしながら作品をつくり、音楽的感性を育みます。

例：教科書 p.28-31 「詩、短歌、俳句をもとにして音楽をつくろう」

④未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を目指しました。

●「音楽って何だろう?」という問いに対する考えを深めるためのさまざまな視点を掲載しました。

音楽って何だろう? ① 頭の準備体操

音楽って何だろう?
この問いに答えるのは簡単ではありません。
この問いに対する答えは、言語、文化、時代によって、あるいは人によってさまざまだからです。
ここでは、下のワークシートを使って自分なりの考えを探りましょう。
また、右ページの2つの例を参考にして、問いについての考えを深めましょう。

Step 1 次のA~Iは、音楽だといえるだろうか。あなたが考える「音楽」のイメージにぴったり当てはまる場合は5、全く当てはまらない場合は1として、それぞれに○を付けよう。また、その理由を簡単に書こう。

	5	4	3	2	1	理由
A 波の音	○	○	○	○	○	
B ウグイスの鳴き声	○	○	○	○	○	
C 蒸気機関車の走行音	○	○	○	○	○	
D 風鈴の音	○	○	○	○	○	
E 学校のチャイム	○	○	○	○	○	
F 読経	○	○	○	○	○	
G 応援するときの三三七拍子	○	○	○	○	○	
H 「もういいかい」「まあだだよ」	○	○	○	○	○	
I 楽譜	○	○	○	○	○	

Step 2 あなたが考える音楽の目的を5つ書こう。また、それぞれの具体例を挙げよう。

目的	具体例
①	
②	
③	
④	
⑤	

Step 3 Step①と②を踏まえて、「音楽とは何か」に対する自分なりの考えをまとめよう。

音楽とは _____ である。

音楽って何だろう? ③ 音楽の向こう側にあるもの

音楽が生まれて、人に届くまでには、たくさんの人やテクノロジーが関わっています。印刷、録音、放送、コンピュータなどのテクノロジーの発展によって、音楽は大量複製されるようになり、音楽を生む人と、音楽を聴く人との距離はどんどん遠くなりました。同時に、あじだに関わる人も増え、音楽が個人に届くかたちもますます多様化しています。
現在では、インターネットをひらけば、すでにこの世にいない人の演奏や、地球の裏側の演奏を聴くことができます。

フラ ハワイ諸島の歴史を伝える歌文化
フラは、特定のビートと結びついた数種類のステップにのせて、自然界の動きを模倣した身振りを払い、口承で受け継がれてきた歌に即して踊られる、極めて様式的な踊りです。古代ハワイ社会においては、神々や首長をたたえるために踊られ、世俗の生活と切り離された特殊な状況で、マナ(魔力)を高めている。

全く音を出さない演奏者
ピアニストが舞台上で登場し、ピアノの椅子に座って、鍵盤の蓋を閉める。1952年に初演されたジョン・ケージ作曲の(4分33秒)は、このようにして始まりました。ピアニストは何も弾かず、第1楽章が終わると蓋を開け、続いて閉めて第2楽章、また開け閉めして第3楽章、最後に蓋を開けて終わり。これが記録に残る初演の様式です。

ケージは、「音でもらえないかもしれませんが、私は沈黙を一つ一つ書き込んで曲をついたのです」と述べています。彼の言う「沈黙」は、「音がないこと」ではなく「音を出さないこと」を意味しています。初演に集まった人々は、演奏者が全く音を出さなくても、森へと開放された扉から、風が木々を揺らす音、雨が屋根をたたく音、会場内のうろたえた聴衆のつぶやきが抗議の声へと高まっていくのを聴いたはずなのです。

●(4分33秒)を実際に演奏して、演奏者や聴衆の立場から、感じたことや考えたことを話し合おう。

美しい響きと旋律、けれども「音楽」ではない

イスラムでは、歌や楽器の演奏の是非について古くから宗教的な議論が繰り返されてきました。現在でも、「イスラムは音楽を忌避している」と言われることがあります。しかし、実際に耳を澄ますと、イスラム社会からは非常に豊かな「音楽のようなもの」が聞こえてきます。聖クルアーン(クルアーン)の朗誦も、礼拝の時を告げるアザーンも、礼拝の開始を告げるイカーマも、極めて旋律的に聞こえます。一体これはどういうことでしょうか。

実は、イスラムでは、クルアーン(クルアーン)の朗誦やアザーンを「音楽」とは見なしていないのです。そこに音楽的要素が認められても、彼らにとっては、決して「音楽」ではないのです。

アザーンを務める様子
ミナレット
アザーンは通常、モスクに付設されている塔(ミナレット)から告げられる。現在では、スピーカーを通して流されることも多い。


音楽って何だろう? ④ リズムについて

リズムとは、音楽の時間的なまとまりをつくり、区分したりするものです。リズムを考えるうえで重要なのが「拍」と「拍子」です。ここでは、拍と拍子のあり方に基づいて分類した3つのリズムについて、実際の音楽を聴いて確認しましょう。


拍は、音楽の流れの中で、等間隔で繰り返される最小の時間単位。

有拍有拍子のリズム
明確な拍と拍子が感じられます。拍子には、大きな時間の単位の2分割ないし3分割と捉えられるものと、小さな時間の単位の足し合わせと捉えられるものがあります。ここでは、前者を「分割拍子」、後者を「付加拍子」と呼びます。

分割拍子
3分割の例
●メヌエット ~メヌエット(ベツォルト作曲)
メヌエットは、17~18世紀にフランスの宮廷で流行した3拍子の舞曲で、男女のペアで踊られます。組曲や交響曲にも取り入れられました。

1 2 3 1 2 3 1 2 3 1 2 3

 ●p.34 (メヌエット)
 ●p.42 (ボロネーズ第6番) など

●アフィオン地方の踊り(トルコ)
トルコの民俗舞踊は、付加拍子が特徴的で、1曲の中で、次々と拍子や速度を変化させることもあります。ここに挙げた例は、2+2+2+3の9拍子です。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

 太鼓

音楽って何だろう? ② さまざまな音楽のあり方

人間と音楽との関わりは、地域や文化圏によってさまざまです。ここでは、世界各地の音楽のなかから、ほんの一部を紹介します。多様な音楽のあり方に触れ、「音楽とは何か」について、考えを深めましょう。

カヒコ
カヒコは北アメリカの観光地として整備される中、女性性が強調された「楽」になりました。踊りの高まりを受け、古代ハワイの伝説に基づいたフラが見え、西洋文明の影響を受けたスタイル「現代フラ(アウアナ)」、それと大ジャンルに分類されました。フラが競技化され、評価基準が明確で、古代の先住ハワイ文化への関心も高まり、研究が進んでいます。手段として披露されることも少なくありません。

南インドの三楽聖
南インドの三楽聖は、まるで人間のようにも感じられます。神像を美しく飾り、大切な神げ物の一つです。が、寺や各家の祭壇の前で、名を呼んだり、その徳をたたえたりする信徒が、まるで人間のようにも感じられます。神像を美しく飾り、大切な神げ物の一つです。が、寺や各家の祭壇の前で、名を呼んだり、その徳をたたえたりする信徒

●自分の好きな楽曲を1つ取り上げて、その楽曲に関わりのある人・団体やテクノロジーなどを書こう。そして、音楽の向こう側にある歴史や当時の社会状況などの背景を想像したり、調べたりしよう。

音楽って何だろう? ① 頭の準備体操

音楽って何だろう?
この問いに答えるのは簡単ではありません。
この問いに対する答えは、言語、文化、時代によって、あるいは人によってさまざまだからです。
ここでは、下のワークシートを使って自分なりの考えを探りましょう。
また、右ページの2つの例を参考にして、問いについての考えを深めましょう。

Step 1 次のA~Iは、音楽だといえるだろうか。あなたが考える「音楽」のイメージにぴったり当てはまる場合は5、全く当てはまらない場合は1として、それぞれに○を付けよう。また、その理由を簡単に書こう。

	5	4	3	2	1	理由
A 波の音	○	○	○	○	○	
B ウグイスの鳴き声	○	○	○	○	○	
C 蒸気機関車の走行音	○	○	○	○	○	
D 風鈴の音	○	○	○	○	○	
E 学校のチャイム	○	○	○	○	○	
F 読経	○	○	○	○	○	
G 応援するときの三三七拍子	○	○	○	○	○	
H 「もういいかい」「まあだだよ」	○	○	○	○	○	
I 楽譜	○	○	○	○	○	

Step 2 あなたが考える音楽の目的を5つ書こう。また、それぞれの具体例を挙げよう。

目的	具体例
①	
②	
③	
④	
⑤	

Step 3 Step①と②を踏まえて、「音楽とは何か」に対する自分なりの考えをまとめよう。

音楽とは _____ である。

(教科書 p.32-33)

他にも……

●新しく習得した知識を楽曲の理解に生かし、理解したことを表現活動につなげます。
例：教科書 p.16、17《野ばら》(シューベルト/ヴェルナー)

●即興演奏しながら組み立てていく音楽に挑戦し、その面白さや難しさに触れ、合奏を楽しみます。
例：教科書 p.24-25「ホローポによるリズムゲーム」

(教科書 p.124-125)

(教科書 p.68-69)

(教科書 p.54-55)

⑤ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養を目指しました。

自分や他の誰かを勇気付ける音楽の力に触れ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養います。

交響曲第9番 第4楽章 Sinfonie Nr.9 ベートーヴェン

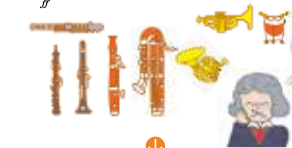
《交響曲第9番》は、第4楽章にシラーの頌歌「歓喜に寄す」に基づく独唱と合唱を伴った交響曲です。ベートーヴェンはこの交響曲で、器楽による表現だけでなく声楽による表現を加えることで、より壮大な音楽の世界を表現しようとした。

第4楽章の前半では、第1楽章から第3楽章までの主題がオーケストラのみで回想され、それに続いて「歓喜のメロディー」が演奏されます。ベートーヴェンのスケッチ帳に残されたメモを参考にしながら、この部分を聴きましょう。

第4楽章の後半になると、独唱、四重唱、合唱が加わります。音楽の構成とシラーの歌詞を確認しながら、ベートーヴェンが曲に込めた思いを考えましょう。 * 頌歌：賛歌、ほめたたえる詩。

序奏

管楽器によって激しい旋律が演奏されます。



ただ我々の絶望を思い起こさせるものだ。

第3楽章の回想

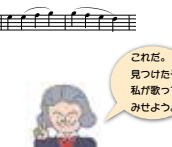
木管楽器によって穏やかな旋律が演奏されます。



これも違う。僕しずめる。

歓喜のモチーフ

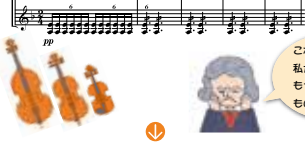
ようやく歓喜のモチーフが紹介されます。



これだ。見つけた。私に歌ってみせよう。

第1楽章の回想

管楽器によって完全5度の響きが演奏される中で、弦楽器が第1楽章冒頭と同じ音型を演奏します。



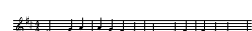
これは違う。私が求めているのは、もつと耳に心地よいものである。

歓喜のメロディー

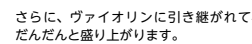
最初は、コントラバスとチェロによって、「歓喜のメロディー」が演奏されます。



次に、ヴァイオリンが加わります。



* ファゴットは「歓喜のメロディー」と対話するような旋律を演奏する。



さらに、ヴァイオリンに引き継がれて、だんだんと盛り上がります。



これも違う。ただにやがてただ。もつと美しいものを。

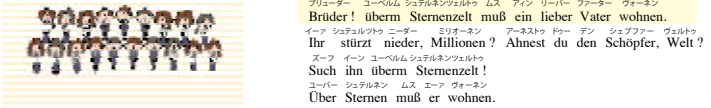
曲の構成を理解し、音楽に込められたベートーヴェンの思いを感じ取りたい。

(Allegro)



フロイデ シューナー ガツテルフンケン トネター アス エリュースイウム
Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken, Himmelsche, dein Heiligtum!
Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

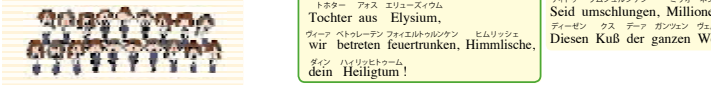
Andante → Adagio



ザイトウ ウムシユンゲン ミリオーネン ディーゼン クス テーア コンツェン ヴェルト
Seid umschlungen, Millionen! Diesen Kuß der ganzen Welt!
Brüder! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.
Ihr stürzt nieder, Millionen? Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such ihn überm Sternenzelt! Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Über Sternen muß er wohnen.

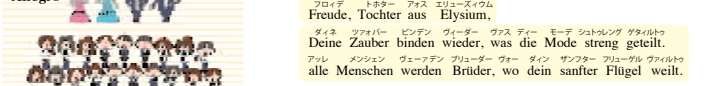
何百万人の人々よ、抱擁を受けよ！全世界のために口づけをしよう。兄弟姉妹たちよ！星空の向こうに愛する神がおられるのだ。

Allegro



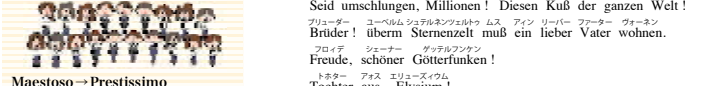
フロイデ シューナー ガツテルフンケン トネター アス エリュースイウム
Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken, Himmelsche, dein Heiligtum!
Ihr stürzt nieder, Millionen? Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such ihn überm Sternenzelt! Brüder! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.

Allegro



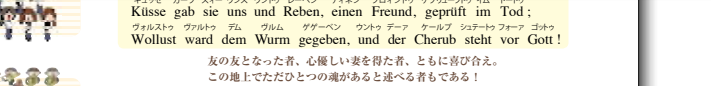
フロイデ トネター アス エリュースイウム
Freude, Tochter aus Elysium,
Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt.
Alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

Prestissimo



ザイトウ ウムシユンゲン ミリオーネン ディーゼン クス テーア コンツェン ヴェルト
Seid umschlungen, Millionen! Diesen Kuß der ganzen Welt!
Brüder! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.
フロイデ シューナー ガツテルフンケン
Freude, schöner Götterfunken!
トネター アス エリュースイウム
Tochter aus Elysium!
フロイデ シューナー ガツテルフンケン
Freude, schöner Götterfunken!
ガツテルフンケン
Götterfunken!

Allegro



フロウ ヴァン ザーネ ソフネン フリゲルツ ドルヒヒ フス ヒムメルス フレヒトツン
Froh, wie seine Sonnen fliegen durch des Himmels prächt'gen Plan,
Lafet, Brüder, eure Bahn, Freudig, wie ein Held zum Siegen.
衆しげに、天空の摂理に従って、兄弟姉妹たちよ、我々の道を歩もう。英雄が勝利に向かって進むように、歓喜に満ちて。

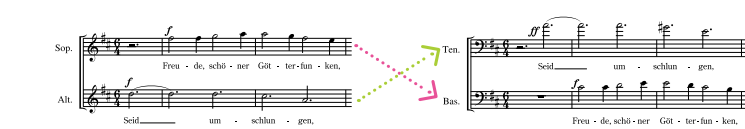
* Sop...ソプラノ、Alt...アルト、Ten...テノール、Bar...バリトン、Bas...バス

◆ Recitativo: 朗読のように歌う歌唱法。叙唱ともいう。

合唱によって「歓喜のメロディー」が歌われます。



ここでは2つのメロディーが同時に歌われます。1つ目は「歓喜のメロディー」です。2つ目は、Andanteの部分のメロディーです。これらは、ソプラノとアルトの組み合わせで歌われ、その後、音の高さを入れ替えて、テノールとバスの組み合わせで歌われます。



●オーケストラ、独唱、四重唱、合唱の組み合わせや、旋律及び歌詞の内容を確認しながら、音楽に込められたベートーヴェンの思いを感じ取り、話し合おう。

生きる源となった音楽の力

2019年、がん研究会の企画・主催で「がん患者さんが歌う第九チャリティコンサート」が開かれた。これは、がん患者さんを中心に、その家族と医療従事者が、オーケストラと一緒に《交響曲第9番》を合唱付きで演奏するというコンサートである。2人に1人ががんを患い、がんと闘う人がますます増える現代において、メンタルサポートを含めた患者本位の医療を提供していきたいという思いから発案された。

公募によって集まったがん患者さんたちは、治療の合間をみながら30回以上に及ぶ練習を重ねた。がん患者さんにとって、2時間わたって声を出し続ける練習は非常に厳しいものだが、練習会場には笑い声があふれていた。参加者からは、「第九」を歌うことが、これからの治療をがんばる原動力となる「生きる喜びを歌い上げるエネルギーが、身体からわき起こってくるのを実感する」という声があふれていた。本番では、それぞれの思いをひとつにして歌い上げ、会場は盛大な拍手に包まれた。



藤岡幸夫(指揮)/日本フィルハーモニー交響楽団 2019年1月29日

●ヨハン・クリストフ・フリードリッヒ・フォン・シラー Johann Christoph Friedrich von Schiller(1759~1805)は、ドイツ古典主義を代表する劇作家、詩人、哲学者。文学にとどまらず歴史、哲学、美学にまで及ぶ幅広い著作を残した。

- 他にも……
- 現代的な社会問題を扱った音楽作品の鑑賞を通して、自分たちが生きる現代社会について考えを深めます。
例：教科書 p.48-49 ミュージカル《ウエストサイドストーリー》
- 音楽に関する知的財産権についての基本的な考え方を学び、身近なケースを例に理解を深めます。
例：教科書 p.126-127 「音楽に関する知的財産権＝著作権」

◎ 学習に役立つ二次元コードコンテンツを充実させました。

いくつかの外国語曲では、原語歌詞の朗読を視聴することができます。



伝統音楽などの体験活動のお手本を視聴することができます。



コードの弾き方(ギター・キーボード)を視聴することができます。



定番の教材は残したまま、学びを深める新しい教材を充実させました。

二次元コードコンテンツのリスト

- p.2 「音楽って何だろう？」各人のプロフィール、解説
- p.10 ビッグイシューを応援するイベント「りんりんふえす」の概要
- p.14 《黒い猫が欲しかった》原語歌詞発音
- p.16,17 《野ばら》原語歌詞発音
- p.18 《愛の讃歌》原語歌詞発音
- p.22 ギターの奏法、解説、《Happy Birthday To You》演奏
- p.24 ホローポの解説、演奏
- p.26,121 箏の奏法、解説、《六段の調》演奏、唱歌
- p.32 「音楽って何だろう？①頭の準備体操」サンプル音源
- アザーンの様子
- p.34 メヌエットのステップの解説、実演
- p.35 チェンバロの解説、《タンブラン》演奏
- p.40 《菩提樹》の舞台アレンドルフの風景
- 《菩提樹》原語歌詞朗読
- p.42 「ピアノに挑戦」、《ポロネーズ第6番》演奏
- p.54 リクインディ(水太鼓)の演奏
- フラ・カヒコの代表曲《ウラ ノ ヴィオ》の踊りの解説、実演
- p.56 ガムランの各楽器の解説、《ランチャラン マニャルセウ》演奏
- p.58 音楽旅行記の作り方
- イタラケのお祭りの様子
- p.60 《陵王乱序》の解説、唱歌、演奏
- p.62 能の典型的な形式「呂中干」の解説、唱歌、演奏
- p.64 長唄《京鹿子娘道成寺》「鈴太鼓」の場面の演奏
- p.120 三線の解説、《ていんさぐぬ花》演奏
- p.124 「音楽って何だろう？④リズムについて」参考楽譜
- インドの拍子「ルーパクター」の手拍子
- p.126 JASRAC「音楽著作権とは」
- p.156 ギターとキーボードによるコードの実演
- p.166 「音楽って何だろう？」ガッシャープルムⅡへの道のり

目次 Contents

音楽って何だろう？①	久保田慶一	2
表現とは、頭と体を使った他者との対話	森山未来	4
歌唱		
翼をください	山上路夫作詞/村井邦彦作曲	8
魔法みたいに	寺尾紗穂作詞・作曲	10
この道	北原白秋作詞/山田耕祥作曲	12
黒い猫が欲しかった	F.S.マレスカ、A.ソリテッロ、フラマリオ作詞/F.バガノ作曲	14
野ばら	J.W.v.ゲーテ作詞/H.ヴェルナー作曲	16
野ばら	J.W.v.ゲーテ作詞/H.ヴェルナー作曲	17
愛の讃歌	E.ピアフ作詞/M.モノ作曲	18
器楽		
クラッピング カルテット 第1番	長谷部隆俊作曲	20
Happy Birthday To You	P.S.ヒル、M.J.ヒル作詞・作曲	22
ホローポによるリズムゲーム		24
六段の調 初段	(伝)八橋操校作曲	26
創作		
詩、短歌、俳句をもとにして音楽をつくろう		28
音楽って何だろう？① 頭の準備体操	・全く音を出さない演奏者 ・美しい響きと旋律、けれども「音楽」ではない	32

鑑賞		
メヌエット	コメディバレ(舞踏のよい人々)から	34
タンブラン	(クラヴサン曲集)から	35
交響曲第9番 第4楽章	ベートーヴェン作曲	36
菩提樹	連作曲集(冬の旅)から	40
ポロネーズ第6番	(英雄) ショパン作曲	42
オペラ 椿姫	ヴェルディ作曲	44
文楽 魔法使いの弟子	テュカス作曲	46
ミュージカル ウエスト サイド ストーリー	バーンスタイン作曲	48
混声合唱とオーケストラのためのカンタータ 土の歌	大木博夫作詞/佐藤 眞作曲	50
音楽って何だろう？②	さまざまな音楽のあり方	54
ガムラン ランチャラン マニャルセウ		56
音楽旅行記 地球の裏側の音楽を求めて-ポリビア-		58
雅楽 陵王		60
能 高砂		62
歌舞伎 京鹿子娘道成寺		64
沖縄 奄美群島のさまざまな音楽		66
音楽って何だろう？③	音楽の向こう側にいるもの	68

歌唱		
半月	争 兎作詞・作曲	70
ねずみは米が好き	稲 臣剛作詞・作曲	71
オー シャンゼリゼ	P.ドラノ作詞/M.ウィルショー、M.ディガン作曲	72
平原の魂	R.B.コロナード作詞/P.E.グティエレス作曲	73
独唱など		
さびしいカシの木	やなせたかし作詞/木下敬子作曲	74
カーロ ミオ ベン	作詞者不明/G.ゾルダニ作曲	76
我が太陽	G.カプッロ作詞/E.d.カープア作曲	78
アヴェ マリア	A.シュトルク独語詞/F.シューベルト作曲	80
君を愛す(優しき愛)	K.F.W.アロー作詞/L.v.ベートーヴェン作曲	82
歌の翼に	久野静夫日本語詞/F.メンデルスゾーン作曲	84
誰も寝てはならぬ	G.アデーミ、R.シモノ作詞/G.プッチーニ作曲	86
乾杯の歌	F.M.ピアヴェ作詞/G.ヴェルディ作曲	88
私を泣かせて	G.ロッシ作詞/G.F.ヘンデル作曲	90
かつて木陰は	N.ミナート作詞/G.F.ヘンデル作曲	91
合唱など		
荒城の月	土井豊彦作詞/滝 廣太郎作曲	92
ふるさと	高野敏之作詞/岡野貞一作曲	94
時の旅人	深田じゅんこ作詞/橋本祥路作曲	95
大地讃頌	大木博夫作詞/佐藤 眞作曲	98
野ばら	近藤邦雄日本語詞/H.ヴェルナー作曲	100
アヴェ ヴェルム コルプス	作詞者不明/W.A.モーツァルト作曲	102
荒れ野に御使い	クリスマスキャロル/門馬衛日本語詞	103
Amazing Grace	J.ニュートン作詞/アメリカの古い旋律	104
カントリー ロード	B.ダノフ、T.ニヴァート、J.デンヴァー作詞・作曲	106
風に吹かれて	B.ディラン作詞・作曲	107
A Whole New World	T.ライオナルド/A.メンケン作曲	108
Tonight	S.ソンドバム作詞/L.バーンスタイン作曲	109
Oh Happy Day	E.ホーキンス作詞・作曲	110
器楽		
威風堂々	E.エルガー作曲	112
木星	G.ホルスト作曲	113
America	L.バーンスタイン作曲	114
Imagine	J.レノン作詞・作曲	116
いつも何度でも	見 和歌子作詞/木村 弓作曲	118
ていんさぐぬ花	沖繩県民謡	120
六段の調 初段	(伝)八橋操校作曲	121

創作		
【きらきら星】の旋律で音楽をつくろう		122
音楽って何だろう？④	リズムについて	124
資料		
音楽に関する知的財産権=著作権		126
西洋音楽史		128
「コーラス」と「オーケストラ」は古代ギリシャが起源/数学と哲学と音楽/中世は教会音楽の時代/合唱が最盛期を迎えたルネサンス/バロック音楽の開始を告げたオペラ/コントラストを駆使した協奏曲/宮廷音楽の全盛時代/教会と宮廷で活躍したバッハ/オペラとオラトリオの作曲家ヘンデル/音楽文化の中心地ウィーン/音楽を消費する都市ロンドン/充實したオペラの序曲/ベートーヴェンとピアノ/充実していくオーケストラ/音楽を楽しむ人々/ヴィルトゥオーソの登場/詩と音楽/多様なオペラの世界/夢を実現したワーグナー/民族主義の高まりと音楽/現代の始まり/さまざまなスタイルの曲をつくった作曲家/新しい作曲法/新しい音楽観/新しい音楽材/新しい電子の音/日本のクラシック音楽の開花		138
ポピュラー音楽のジャンル		140
日本音楽の流れ		142
日本の民謡と民俗芸能		144
楽器の図鑑		146
音楽年表		150
西洋音楽の楽典		158
オーケストラの編成		160
楽器の奏法		162
イタリア語の発音		163
ドイツ語の発音		164
フランス語の発音		166

テキスト 音声 画像 動画

これらのマークがある項目は、以下のウェブサイトから学習に役立つさまざまなコンテンツを見ることができます。

https://textbook.kyogei.co.jp/hs/r4_k1/index.html

同声合唱の音は、混声、女声、男声、いずれの形態でも演奏できる。

指導書について

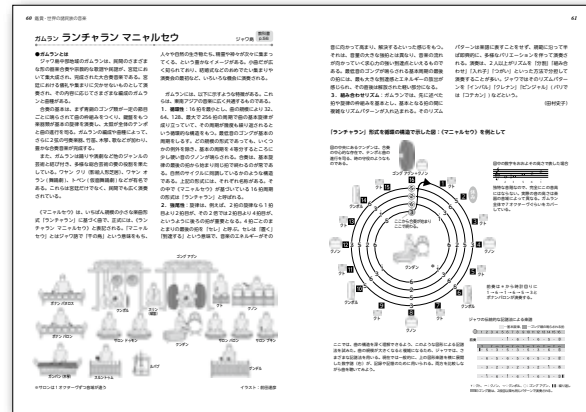
■セット内容 B5判セットケース入、定価23,100円(本体21,000円+税10%)

- ①研究資料編
- ②楽譜資料編
- ③指導用・鑑賞用CD(6枚組)

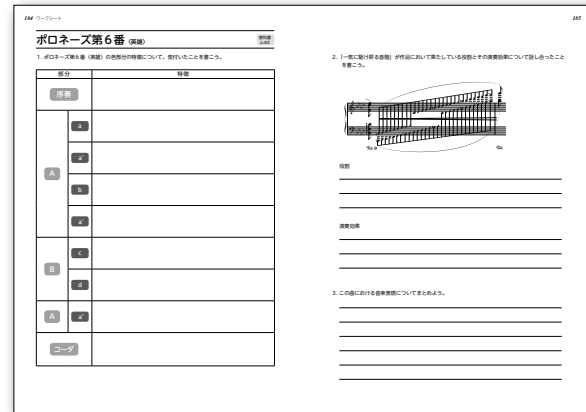
①研究資料編

年間指導計画例、学習指導案例、授業を多角的にサポートする解説・資料、授業に役立つワークシートを掲載しています。

◆解説・資料の例



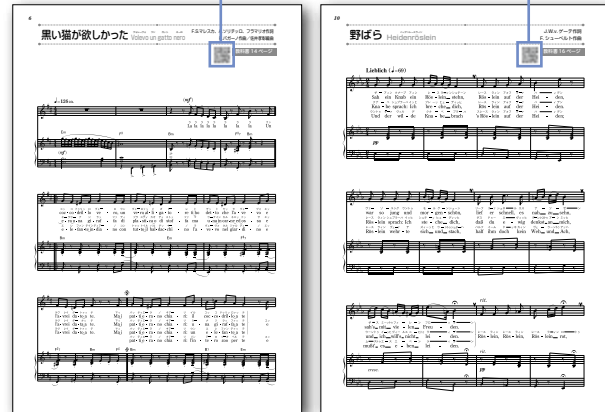
◆ワークシートの例



②楽譜資料編

歌唱教材の伴奏譜の他、簡易伴奏譜、移調譜、教科書の編成とは別の編曲なども掲載しています。

◆例



■二次元コードから伴奏音源にアクセスできます。

③指導用・鑑賞用CD(6枚組)

主な歌唱教材の範唱、参考演奏、原語歌詞の朗読、器楽教材の範奏、鑑賞教材を教科書の目次順に掲載しています。

検討の観点別にみた特色

	観点	教科書の特色
範囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	●教材は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適切しているか。	●歌唱教材においては生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲を、器楽教材においては技術的に平易な楽曲を取り上げている。創作教材においては、生徒が取り組みやすい内容で、具体的な手順を示している。また、鑑賞教材においては着眼点を明確に示すなど、生徒の能力の実態に即した適切な内容になっている。
内容	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	●明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が、音楽の多様性を理解し、音楽的な見方・考え方を身に付けて、音楽のよさや美しさを味わい、音楽文化に親しむ態度を養うことができるよう配慮されている。
	●三つの柱を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着について適切な配慮がなされているか。	●教材の内容は、三つの柱(「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」)と相互に関連付けられており、さまざまな参考資料を収録するとともに、基礎的・基本的な内容を学習できるよう工夫されている。また、鑑賞においては楽曲の構成や文化的・歴史的背景が分かりやすく解説されており、確実に学習活動が進められるように配慮されている。
	●説明文やイラスト、写真などは、学習を進めるうえで適切であるか。	●説明文は平易な言葉で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラストや写真の取り上げ方はアイディアにあふれ、音楽的な見方・考え方の育成や知的理解の深化に配慮されている。
	●生徒が音楽やその背景にある社会やさまざまな文化に興味・関心をもち、「主体的・対話的で深い学び」の学習活動に取り組みよう工夫されているか。	●教材には、表現する際のポイントや、音楽の背景にある社会や文化について分かりやすく説明したコラムが設けられており、表現の工夫や音楽理解を促すとともに、「主体的・対話的で深い学び」の学習活動に取り組みよう工夫がなされている。
	●「創作」に関わる学習活動が適切に取り扱われているか。	●創作活動においては、生徒の能力に応じて弾力的な指導を進められるよう配慮されている。 ●小学校、中学校における「音楽づくり」「創作」の学習内容や、学習指導要領に示された指導事項を踏まえながら、時間的、能力的に無理なく取り組める教材が、具体的な手順を示して取り上げられている。
●我が国や郷土の伝統音楽及び音楽文化に対する配慮がなされているか。	●歌唱教材においては、古くから歌い継がれている曲を複数取り上げ、器楽教材においては楽器の奏法などについて唱歌を伴って分かりやすく解説している。また、鑑賞教材においては伝統芸能や沖縄・奄美群島の音楽などを取り上げており、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成できるよう配慮されている。	
全体の構成	●教材は系統的、発展的に組織されているか。	●各教材の冒頭ページに縦書きで示された学習目標に基づいて、教材が系統的・発展的に配置されており、確実に学習を進められるよう配慮されている。
	●小学校、中学校における学習内容との系統性・一貫性について配慮がなされているか。	●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標を継承し発展した内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌が、小学校、中学校から一貫して取り上げられている。
	●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。	●芸術歌曲やクラシック音楽だけでなく、ポピュラー音楽やミュージカル、民族音楽などさまざまなジャンルの音楽を教材として取り上げており、学習の深化や相互の関連付けを容易に行うことができ、各学校や生徒の実態に応じた柔軟な学習指導計画を立てられるよう配慮されている。
	●教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。	●領域や分野ごとに平易な曲を中心として教材が配列されており、学習の理解や深化を図りやすいよう配慮されている。 ●精選された教材が過不足ない分量で扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟に対応できるよう配慮されている。
記述	●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。
人権	●国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いについて、適切な配慮がなされているか。	●全体を通して、人権教育について適切に配慮されている。また、歌唱教材や鑑賞教材においても、諸外国の音楽文化に対する理解を深めることができるよう配慮されている。 ●音楽に関する知的財産権については、「音楽に関する知的財産権＝著作権」と題し、分かりやすく解説されている。
体裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。	●A4変型判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●教科書の内容をイラストで表現した表紙からも高校生に向けてのメッセージが感じられるよう工夫されており、音楽に親しみやすい体裁となっている。
	●印刷・製本などは適切であるか。	●カラーページとモノクロページに分かれたすっきりした紙面であるとともに、楽譜、文字、イラスト、写真などの印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境にも十分な配慮がなされている。

「高校生の音楽 1」執筆者

【監修】

小原光一(元横浜国立大学教授)

【監修・執筆】

久保田慶一(元東京学芸大学・国立音楽大学教授)

【執筆・編集】

小沼純一(早稲田大学教授)

薦田治子(武蔵野音楽大学教授)

田中多佳子(京都教育大学教授)

鹿谷美緒子(作曲家)

長谷部匡俊(作曲家)

佐井孝彰(作曲家)

三宅悠太(作曲家)

【編集協力】

相田 豊(東京大学助教)

新井裕子(宗教音楽)

石橋 純(東京大学教授)

市瀬陽子(聖徳大学准教授)

今藤政太郎(長唄 三味線)

梶井龍太郎(東海大学教授)

加藤浩子(音楽評論)

川本聡胤(フェリス学院大学准教授)

久万田 晋(沖縄県立芸術大学教授)

古賀まみ奈(フラ)

近藤静乃(東京芸術大学非常勤講師)

白石美雪(武蔵野美術大学教授)

関根敏子(音楽学)

高桑いづみ(東京文化財研究所名誉研究員)

滝口幸子(城西国際大学准教授)

谷口昭弘(フェリス学院大学教授)

田村史子(元筑紫女学園大学教授)

菅木宏幸(ギター)

辻 康介(声楽)

土田健次郎(元早稲田大学教授)

中村仁美(雅楽 箏)

布川雅英(神田外語大学教授)

長谷川 慎(静岡大学准教授)

牧野 翔(ボリビア音楽)

矢野原佑史(京都大学アフリカ地域研究資料センター特任研究員)

山村敏江(神田外語大学日本研究所客員研究員)

吉澤 実(リコーダー)

第1表

高等学校用教科書需要票

見本

発 行 者	番 号	27	略 称	教芸	需 要 数	生徒用	150	冊		
	教 科 書	記 号	音I	番 号		702	教員用	2	冊	
	書 名	高校生の音楽 1						計	152	冊

所在地

学校名

電 話

(全日制・定時制・通信制)

別売 映像資料 価格 各 19,800円(本体 18,000円+税 10%)

教科書に掲載されている「日本の伝統音楽」及び「世界の諸民族の音楽」の授業の参考となる資料を販売しています。

音楽鑑賞DVD

日本の伝統芸能編

- DVD 1枚/収録時間 126分
- 雅楽、琵琶楽、能楽、文楽、歌舞伎から14演目(曲)を収録

高等学校音楽鑑賞DVD

民族編

- DVD 1枚/収録時間 146分
- 38カ国、59曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸 昭先生の解説付き

音楽鑑賞Blu-ray Disc

世界の民族音楽

- Blu-ray 1枚/収録時間 202分
- 49カ国、86曲を収録
- 全ての映像について、研究者によるライナーノート付き



- 本 社 〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-14 TEL. 03-3957-1175(代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木 4-8-7 れんが橋ビル 8F TEL. 052-678-3151(代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-14-17-601 TEL. 06-6943-7245(代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町 2-7-14 TEL. 083-256-4747(代)

ホームページ・アドレス <https://www.kyogei.co.jp/>